

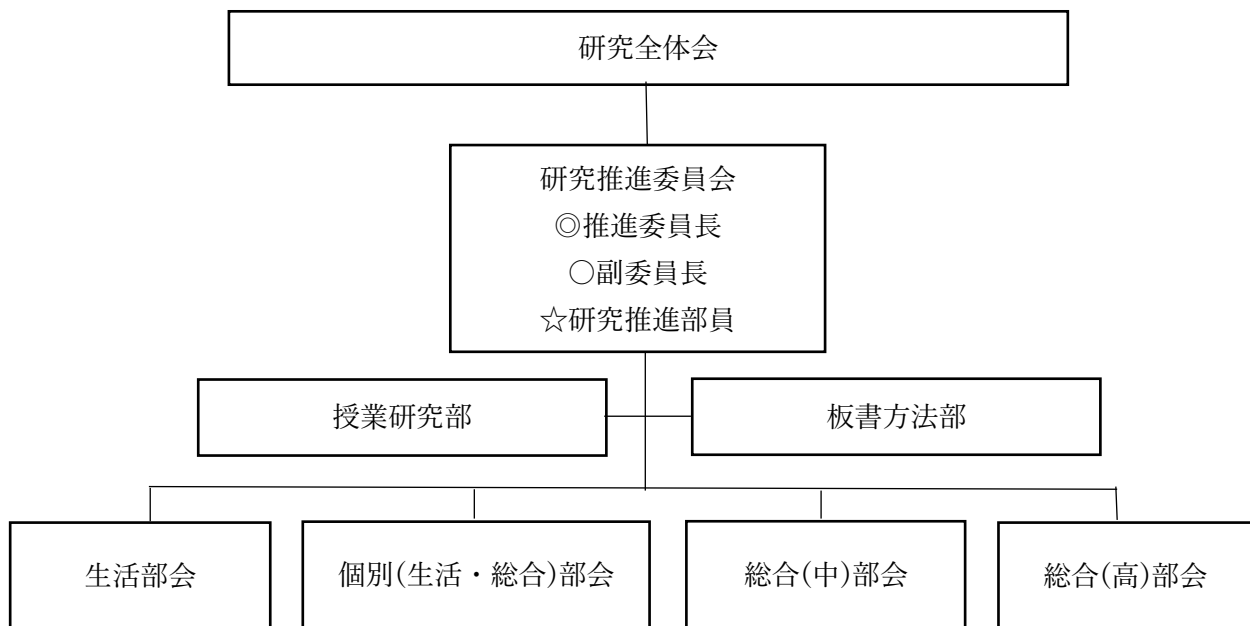
(1) 研究内容

① 研究テーマとテーマ設定の理由

「確かな学力を育てる～本気の課題に向き合い、未来を『そうぞう』する～」とは

子供たちが学びの主体者として、「～したい!」「～してみたい!」という思いから本気の課題を設定し、探究していくことこそが主題である「確かな学力」の結節点になる。変化の激しい時代において、目睫にある問題に目を向けて課題をもつ力を付けるためには生活科や総合的な学習の時間の力は必要不可欠である。研究3年目ということで、1年目に作成した単元配列表と全体計画、2年目に行った単元を構想し作成した年間指導計画を活用し、さらにブラッシュアップしながら研究を進めてきた。昨年度末に本年度に向けた振り返りを模造紙で可視化したところ、上記にもあるように「教師主導の課題設定となっている」「他人事・方向性が見えない」「地域との連携の難しさ」等が課題として浮き彫りになってきた。このことから、本校では、育成を目指す資質・能力として、「学んだ知識や技能や体験から見つけた課題に向き合い、創造力や想像力を発揮して解決しようとする児童の育成」を据えた。まずは、教師主導の課題設定ではなく、体験活動の中で見つけたことや疑問に思ったこと等から本気で向かえる課題を設定し、主体的に解決できるよう次は何をするのか見通しをもって進めていけるよう年度当初に年間指導計画をベースに単元づくりを行った。さらにそこで得たものが今後の生活に生きて働くものとなるよう、教師がどのような手立てを講じていけばよいのか明らかにしていく。

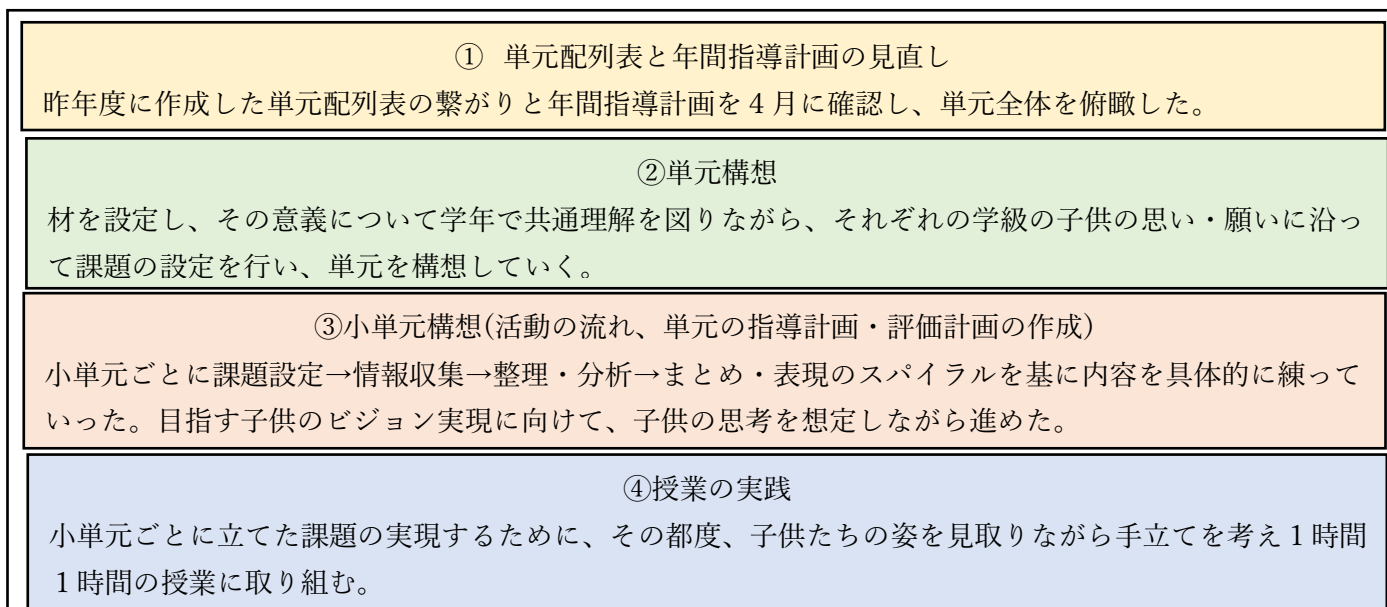
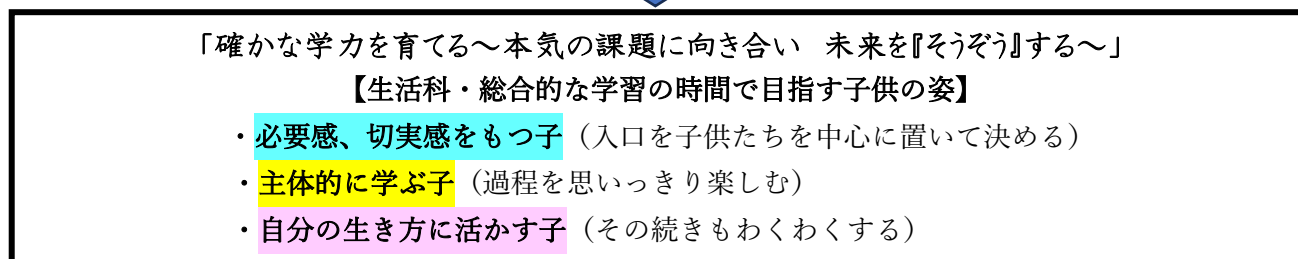
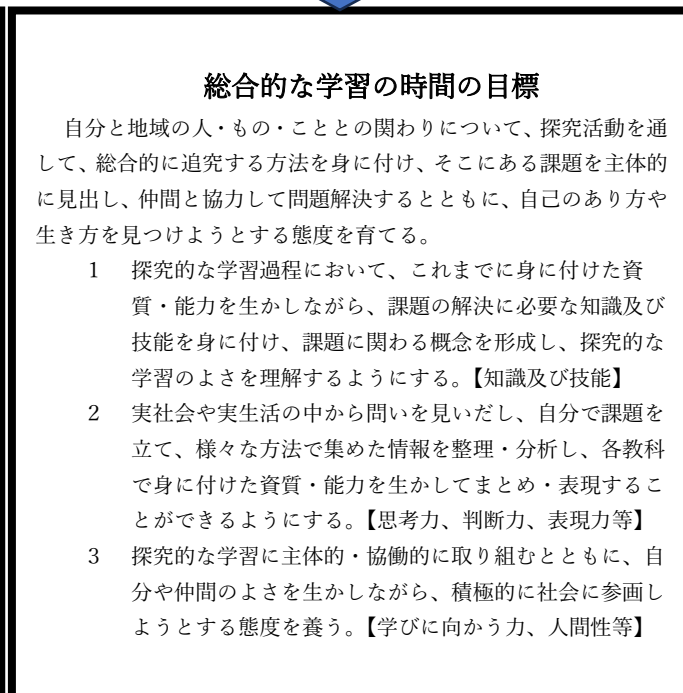
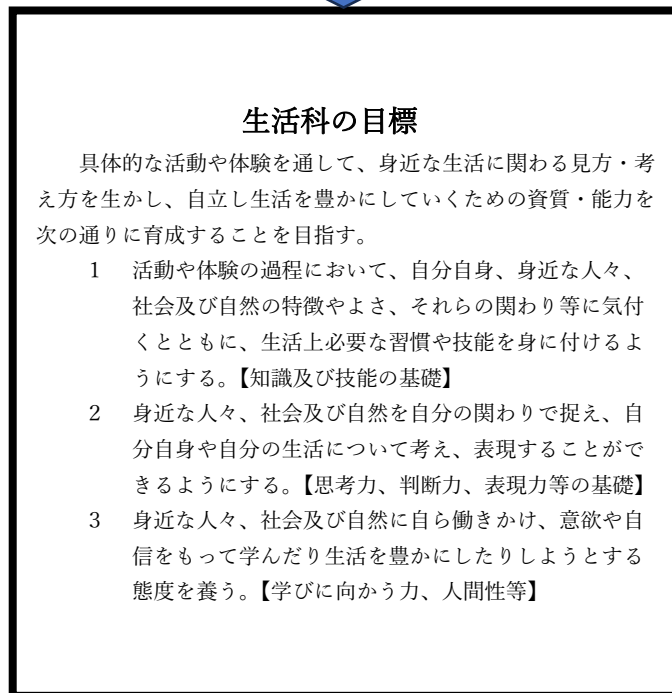
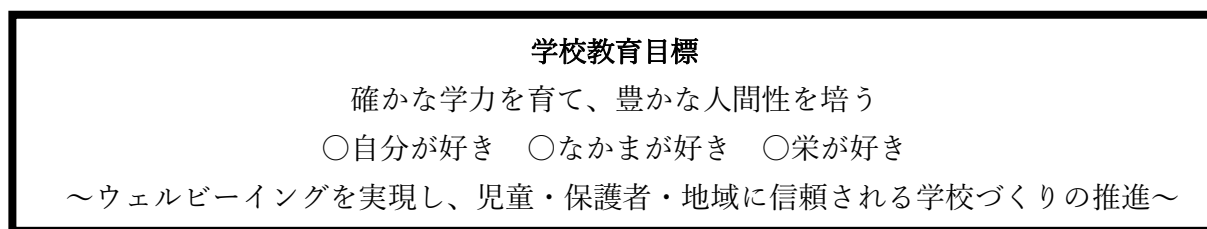
② 研究組織



- ・低、中、高、個別の4つのブロックに分かれて行う。
- 低学年部会・・・☆黒瀧、根岸、☆柴崎、花岡、清水
- 中学年部会・・・須田、◎門脇、岸本、☆齋藤、桑原
- 高学年部会・・・林、☆奥澤、杉山、☆梅村、☆牧野
- 個別(総合)部会・・・☆櫻内、福島、小松、教頭、○野末

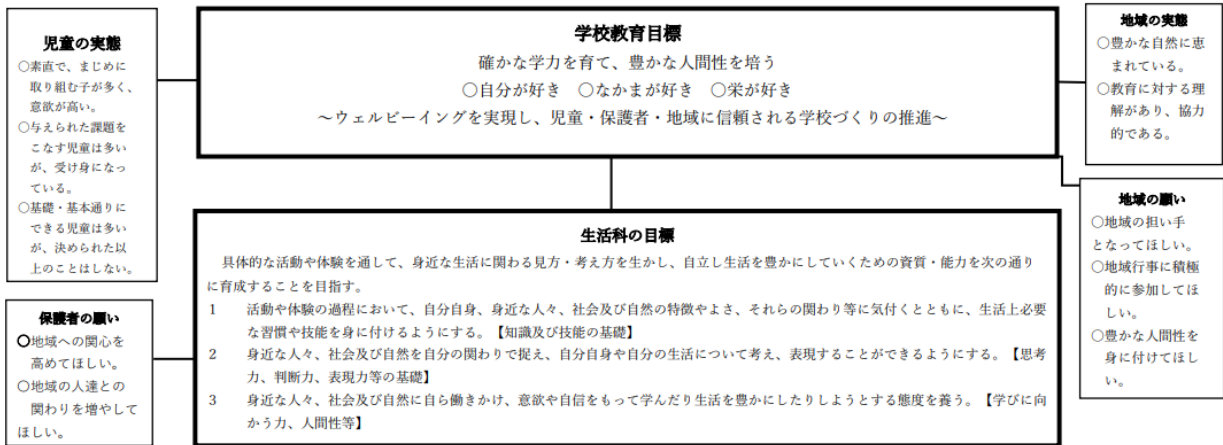
研究主題に示した「確かな学力を育てる」の具現化に向けて、昨年度から「単元配列表の見直し、活動の流れ、単元構想・単元の指導計画・評価計画、授業実践」という段階で研究に取り組んできた。今年度もその過程を通して、確かな学力を身に付けながら、目指す子供の姿に迫っていく。本校では、生活科・総合的な学習の時間の研究3年目に入り、1・2年目と積み重ねてきた研究を基に発想から授業実践までの過程の手筈を丁寧に踏みながら且つ本校の子供たちや教職員の実態等を分析し実践に反映させてこそ意味のあるものとなる。その現状から、研究内容については、実践の拠り所となる学習指導要領の項目に沿って整理していく。

③ 研究構造図



④ 全体計画（生活科）

新座市立栄小学校 生活科と学校教育目標の関連



内容		
学習指導要領に示された内容のまとめ(1)(9)	知識及び技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○物事の本質が分かる ・社会や自然の特徴やよき、それらの関わりに気付いている ・人々の思いや願い、取り組みのよさに気付いている ・自分自身のよさに気付いている ○問題を解決するプロセスのよさを理解する ・これまでの遊びや学習の経験から、より良い活動の順序、手順、方法を自覚している ○各教科を通して身に付けた技能を目的や対象に応じて効果的に使う ・観察や調査活動を行い、まとめる技能 ・創造的に創作して表現をする技能 ・身体で表現したり、運動したりする技能 ・コミュニケーションに関する技能（手紙を書く、質問する、思いや考えを交流する、話し合うことなど） ・ICT機器を効果的に活用して表現する技能
	(思考力・判断力・表現力等の基礎 ロイロノートのシンキングツール活用)	<ul style="list-style-type: none"> ○目標や課題を設定する(イメージマップ) ・生活経験や既習のことから、「～したい」と願いをもっている ・困ったことや問題を見出している ○発想を生かして工夫する(クラゲチャート) ・見通しをもってあれこれと試したり、工夫したりしている ・分からないことや知りたいことを調べている ○特徴を比べて似ているところと違うところを見付ける(ベン図) ・事柄を比べて特徴を見出している ・なぜそのようになるのかと理由を考えている ○相手に伝えたいことを自分の方法で表現する ・相手に合わせて自分の考えを伝えるための方法を工夫している ・相手に伝わりやすい伝え方や順序を考えて表現している
	人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○ねばり強く取り組む ・思いや願いの実現に向かおうとしている ・自分のよさに気付いて、自信をもっている ○進んで働きかける ・身近な人、もの、ことに進んで関わろうとしている ・自信をもって取り組もうとしている ○互いの良さを生かしてより良いものをつくろうとする ・相手に思いやりをもって接しようとしている ・相手の良さに気付いている

材・人材の履歴	SDGsとのつながり
・仲花苑、しなのや、サイクルステーションさんべい、岩崎食品、蘭亭、肉のまきた、宮川商店、シェ・ミヤ、大村庵、喜多見屋、元気キッズ、たけのご保育園、もみじ保育園	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>2 飢餓をゼロに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくって使って捨てる責任</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>15 陸の豊かさを守ろう</p> </div> </div>

(総合的な学習の時間)

新座市立栄小学校 総合的な学習の時間 全体計画

児童の実態

- 素直で、まじめに取り組む子が多く、意欲が高い。
- 与えられた課題をこなす児童が多いが、受け身になっている。
- 基礎・基本通りにできる児童は多いが、決められた以上のことはしない。

学校教育目標

確かな学力を育て、豊かな人間性を培う

○自分が好き ○なかが好き ○栄が好き

～ウェルビーイングを実現し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりの推進～

地域の実態

- 豊かな自然に恵まれている。
- 教育に対する理解があり、協力的である。

総合的な学習の時間 第1の目標

総合的な学習の時間の目標

自分と地域の人・もの・こととの関わりについて、探究活動を通して、総合的に追究する方法を身に付け、そこにある課題を主体的に見出し、仲間と協力して問題解決するとともに、自己のあり方や生き方を見つけようとする態度を育てる。

- 1 探究的な学習過程において、これまでに身に付けた資質・能力を生かしながら、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。【知識及び技能】
- 2 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、様々な方法で集めた情報を整理・分析し、各教科で身に付けた資質・能力を生かしてまとめ・表現することができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- 3 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自分や仲間よさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

保護者の願い

- 地域への関心を高めてほしい。
- 地域の人達との関わりを増やしてほしい。

地域の願い

- 地域の担い手となってほしい。
- 地域行事に積極的に参加してほしい。
- 豊かな人間性を身に付けてほしい。

総合的な学習の時間の内容					
学年	3年	4年	5年	6年	
材	地域	福祉	食	キャリア教育	
材・人材の履歴 ※SDGsとの関連	並木農園、福祉の里、宮川商店、肉のまたたき、高多見農、仲花苑、しなのや、大村産、ナカガジ電機、町内副会長さん、甲田様、雄島さん、学校応援団 矢島様	福祉の里、和光特別支援学校、社会福祉協議会（アイマス体験、車いす体験、講演、点字キットの貸出）、明日チャレ（バススポーツ体験、出張授業）、埼玉県障害者交流センター（バススポーツ体験・講話）※	地域で野菜を育てている 市野蓮様・並木園様、野菜アドバイザー 松原様、並木農園	栄の職場（日飯、昭和風扇、しなのや、TOP STER、大村産、たけべ歯科、元気キッズ、サイクルステーションさんべい）、新座総合高等学校、さいたま地方検察庁、新座公民館安定所	
探究課題	身の回りの「ひと」「もの」「こと」の特徴や魅力と、それらに関わる人々の思いや願い。その思いや願いを実現しようとする営み。	身の回りの「ひと」「もの」「こと」の仕組みや価値と、それらに関わる人々の考え方や意思、生き方。物事の維持発展に向けた創造的な営みとその意思。	身の回りの「ひと」「もの」「こと」の仕組みや価値と、それらに関わる人々の考え方や意思、生き方。物事の維持発展に向けた創造的な営みとその意思。	身の回りの「ひと」「もの」「こと」の仕組みや価値と、それらに関わる人々の考え方や意思、生き方。物事の維持発展に向けた創造的な営みとその意思。	
探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○物事の本質が分かる ・社会や文化、自然環境には多様な特徴や魅力があることに気付いている ・人々の思いや願い、考え方、取り組みのよさに気付いている ・人々が連携、協力することで思いや願いの実現に向かっていくことに気付いている ○問題を解決するプロセスのよさを理解する ・これまでの学習の経験から、効果的に学べたと感じる学習活動の順序、手順、方法を自覚している ○各教科を通して身に付けた技能を目的や対象に応じて効果的に使う ・実験や観察、調査活動などを行い、適切に処理する技能 ・創作、創造的な表現をする技能 ・身体表現や運動に関する技能 ・コミュニケーションに関する技能（手紙を書く、質問する、インタビューやアンケート調査を行う、思いや考えを伝え合う、話し合うことなど） ・ICT機器を効果的に活用して処理・表現する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○対象の本質が分かる ・社会や文化、自然環境には多様な特徴や魅力があることや、互いに働きかけ合い、つながり合っていることに気付いている ・人々の思いや願い、考え方や生き方、取り組みのよさに気付いている ・人々が物事の維持発展に向けて責任あるビジョンを持ち、変容、変革しながら社会を構築していることに気付いている ○問題を解決するプロセスのよさを理解する ・これまでの学習の経験から、効果的に学べたと感じる学習活動の順序、手順、方法を自覚している ○各教科を通して身に付けた技能を目的や対象に応じて効果的に使う ・実験や観察、調査活動などを行い、適切に処理する技能 ・創作、創造的な表現をする技能 ・身体表現や運動に関する技能 ・コミュニケーションに関する技能（手紙を書く、質問する、インタビューやアンケート調査を行う、思いや考えを伝え合う、話し合うことなど） ・ICT機器を効果的に活用して処理・表現する技能 	
		思考力・判断力・表現力等	<p>課題の設定</p> <p>身近な環境に関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながらいフィールドワークの計画を立てることができる。</p> <p>情報の収集</p> <p>人に聞いたり、図書館やICTを活用して調べたりして、必要な情報を集めることができる。</p> <p>整理・分析（ロイロノートのシンキングツール活用（段階））</p> <p>集めた情報を比較し、観点ごとに分類し、表などを用いて整理することができる。（イメージマップ・クラゲチャート・ベン図・同心円チャート・Xチャート・Yチャート・ピラミッドチャート・くまの手チャート）</p> <p>まとめ・表現</p> <p>他教科等で培った表現力等を生かし、相手に伝わりやすくまとめることができる。</p>	<p>課題の設定</p> <p>自分たちを取り巻く地域社会に広く目を向け課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。</p> <p>情報の収集</p> <p>多様な方法で自分の目的や意図に即した情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積することができる。</p> <p>整理・分析</p> <p>いろいろな思考ツール等を用いて、集めた情報を整理し、情報と情報の関係を考えることができる。（データチャート・PMI・ダイヤモンドキング・KWL・情報分析チャートと必要に応じて自分で選ぶ）</p> <p>まとめ・表現</p> <p>他教科等で培った表現力等を活用し、目的に応じて手段を選択し、情報収集やまとめ等を行うことができる。</p>	
	学習性向かう力・人間性等	主体性・協働性	身近な人と力を合わせて課題を解決しようとする。	他者と協働して探究活動に取り組む、協働の大切さに気付いている。	自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとする。
		自己理解・他者理解	課題解決の中で、自分の考えと異なる意見や考えがあることを知ろうとする。	探究活動の中で、自分や友達の見解や考えそれぞれによさがあることを知り、学び合おうとする。	探究活動を通して、自分自身を再発見し、他者の考えを受け入れ尊重しながら学び合おうとする。
将来展望・社会参画		地域との関わりの中で、自分のできそうなことを見付けようとする。	地域との関わりの中で、自分のできることを見付けようとする。	地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分のできることを検討し、実践に移そうとする。	

他教科で身に付けた資質・能力

【学級活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習の評価】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・多様な人々と協働して解決する必要のある探究課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を重視する。 ・各教科との関連を重視した指導を行う。 ・学習内容によってはSDGsを意識し、持続可能な社会について考えられる指導の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教材の活用や地域の人々などの連携・調整を行う。 ・全職員による指導体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークシート、成果物などを活用した評価の充実を図る。 ・個人評価を重視する。 ・発表会（異学年交流も含む）を利用した評価を取り入れる。